

ようこそ!

# 史跡山中城跡へ

## ▲ 史跡山中城跡はこんなところ!

山中城は箱根西麓の地形を生かして築かれた山城です。今から 450 年以上前の戦国時代に、小田原を中心にして関東地方を領土としていた北条氏によってつくられました。しかし、天下統一を目指す豊臣秀吉率いる 7 万の大軍に攻められ、わずか 4 千の北条軍は必死に戦ったものの、あえなく攻め落とされました。その後、400 年近く埋もれていた山中城跡の発掘調査を行い、堀や土塁などの遺構（昔の人が残した痕跡）が残されていることが分かりました。三島市では、当時の状態を再現するために整備を行い、昭和 56 年から史跡公園として開放しています。

## ▲ お城の中の各場所の名前

### 曲輪（くるわ）

堀や土塁で囲ってできた城の中の平らな場所。  
本丸、二ノ丸、西ノ丸などがあります。



### 櫓（やぐら）

遠くを見わたすためや、高いところから敵を攻撃するための建物。本丸に建てられる櫓のことを天守といいます。

### 本丸（ほんまる）

城の中で中心となる曲輪。本丸を中心に外側に向かって二ノ丸、三ノ丸となります。

### 出丸（でまる）

城から少し離れたところにつくった独立した曲輪。山中城では豊臣秀吉の小田原攻めに備えて岱崎出丸が急遽つくられました。

## ▲ 山城ってなに？

山に築かれたお城で、山の険しい地形を利用してつくられています。山城のポイントは、ほぼ「土」でつくられていることです。土を掘ったり盛ったりして、敵から攻められにくいように工夫して造られています。戦国時代末期まではこの山城が主につくられ、安土桃山時代から江戸時代にかけては石を積んだ石垣を持つお城がつくられるようになります。ただし、もともと土づくりの山城でも、途中から石垣を積み、改修されたお城もあります。

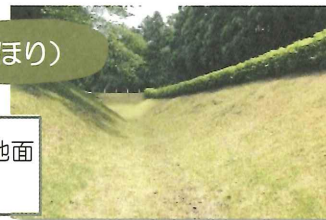
## ▲ お城の中の色々なしかけ!

### 土塁（どるい）



敵の侵入を防ぐために曲輪のまわりに土を盛って、土手のような斜面にしたもの。

### 堀（ほり）



敵の進入を防ぐために、地面を掘って溝状にしたもの。

### ココがみどころ!



### 障子堀（しょうじほり）

主に北条氏の城にみられる特徴的な堀で、堀の中に土手状の壁を掘り残してつくります。衝立障子を並べたような作りから「障子堀」と呼ばれています。現在は保護のために芝を張ってありますが、当時はすべりやすい土のままで、今よりも深かったため、一度落ちたらアリ地獄! 二度とあがることはできません。



**自動車**  
国道1号を箱根方面に、市内中心部から約25分。

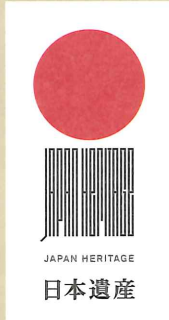
**バス**  
三島駅南口から約30分。東海バス（元箱根港行）「山中城跡」下車

**山中城跡をめぐろう！**

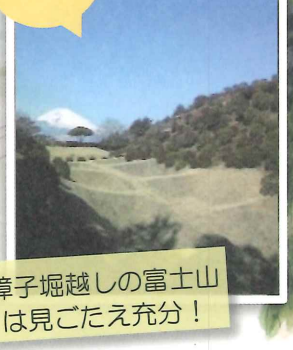
坂道はすべりやすいから気をつけて歩こう！  
堀の中は危ないから入らないでね。

**見学時間**

本丸側をぐるっと1周 1時間～1時間半  
本丸側～岱崎出丸側をぐるっと1周 1時間半～2時間



**写真スポット**



障子堀越しの富士山は見ごたえ充分！

初夏には美しい花々が咲き誇ります



箱井戸は兵士の飲料水、田尻の池は馬の飲み水として使われていたと考えられています。



**ほんまらがわ 本丸側**

かくくわをつなぐきばし 各曲輪をつなぐ木橋。いざとなったら壊して敵の攻撃を防ぎます。



1992.1.30 Tarabe Toshiyuki